

AMUSEMENT SQUARE stage

演劇空間スペースベン

「密偵は羽根を残して」HOGの S・OTOのへと逃げ去った」

モレキュラーシアター演劇公演『HOPRIMER (泉の手引) 法の雷管』を観て 04年7月9日〜11日 / 国際交流基金フォーラム(赤坂)

〈文〉大川久美子 (演劇ライター・東京在住)

上演を観ながら私は、ある妄想に憑かれていた。アブグレイブ収容所で頭から布を被り、箱の上に立たされた捕虜。あの指足首に結ばれた管は、この演劇に繋がっていたのではないかと。

舞台は鉄の壁で3つの独房に仕切られていた。向かって左の房には天井から8つのカメラが吊り下げられ、右の房には床面から見上げるように、やはり8つのカメラが置かれていた。真ん中には縦横3つに並んだ9つのモニターとビデオデッキ。まるで監視室のようだ。暗転と同時に客席から立ち上がった人影がモニターの前に座り、デッキにテープを差し入れた。真ん中のモニターに、「11」という数字のアナグラムが映し出される。こうして劇は始まった。

左の房に一人の演者。不自由な動きをしながら、カメラのアングルを執拗に変えていく。モニターはその様子を仔細に映し出し、観客である私は、房の実際と映像化された様子を同時進行で見つめることとなる。数分後、房の明かりが落ちると同時にカメラの映像は途絶え、唯一残った真ん中のモニターから、先程の内部録画のコーラ

ージュが、高速の巻き戻しで映し出される。その頭出しの直前にブレヒトの四行詩、続いてイラク戦争にまつわる一枚の報道写真。その時ようやく私は、この演劇がブレヒトの報道写真スクラップ集『War Primer』をなぞらえたものであることに、あらためて気付くのだった。

カウントダウンを伴う写真と四行詩に遡るシーケンスが、左右の房の中で交互に行われ、そのたびごとに画像切り替えのスイッチ音

がノイズを放つ。そのパシッパシッという音が私に、あのイラク人捕虜に繋がれた電極を思い出させ、折り重なった遺骸の幻影を見せたのだ。

最後のシーケンスは「FORGET」に人影はなく、提示される写真もない。ただモニターを、こんな文字が走り去る。

—— なんとしても学ぶのだ、そのことに——
3つの房を抜け殻にして劇は終わった。だが私の脳はスイッチ音の残響に合わせ、無数の写真を積み重ねていく。法の雷管に繋がれたまま。

8月7日「八戸芸術大学」 中ザワヒデキの朗読ダンス」

〈文〉高沢利栄 (ICANOFアドミニストレーター・八戸在住)

地元八戸のモレキュラー東京公演「ホー・ブライマー」(演出豊島重之)は上記朗読の通り大好評だった。しかも新宿のギャラリと赤坂のJFフォーラムで同時開催されたCANOE(代表米内安芸)写真展も大成功。その一端をAMUSEMENT SQUAREにも体感して頂く機会が間近に迫った。

今年3月の企画展「風景にメソ展」に続く「CANOE」第四企画展「風景の頭部展」(八戸市美術館・入場無料)が9月4〜20日(午前11時〜午後7時・休館日なし)開催される。招待作家は朝日新聞4コマ「地球防衛家のヒトビト」で有名な手塚治虫賞漫画家しりあがり寿氏と「アルファベット記号絵画」の中ザワヒデキ氏ら。ICANOFメンバーの新作写真も目白押し。

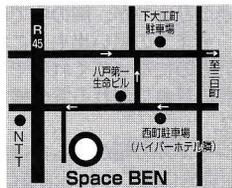


「しりあがり寿さん」 「中ザワヒデキさん」

特に4・5日のオープニングイベント(実費有料)は見のがせない。しりあがり寿の即興制作ライブや写真家北島敬三ワークショップや「ダンス映像リミックス」他。

ICANOFと言えば八戸芸術大学。来たる8月7日(土)午後7時半より八戸市美術館にて中ザワヒデキ氏を講師に招き、辞書にも載っていない「アルファベット造語」を映像プロジェクトとして強引に発音してしまおうというスリリングなライブを展開する。言わば朗読ダンス。こんな機会はめったにない。受講料はテキスト代2000円・学生1000円。すぐに下記問い合わせに予約しちゃう。

*全て午後7時30分〜、料金500円
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。(近くに西町駐車場有り)

☎ スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 03-5908-9120

*スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

8月の Friday Amusement Negative Shop

- 8月6日 (548回)
- 8月13日 (549回)
- 8月20日 (550回)
- 8月27日 (551回)

すべてオープンライブとなります。何が行われるかはミステリー…。

*スペースベンでは、毎週月曜日午後7時30分から、沼尾美也子さんによるジャズダンスレッスンを開催しています。一度見学にいらして下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないあなた。一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っています。

☎ tsutomu_tanaka 070-5095-2028
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス owner@spaceben.com

むつ妖怪フェスティバル2004 プロジェクトAX

8月1日、田名部駅近くの「むつショッピングセンター」にてシアターAXが行われます。ショッピングセンター3階の空き店舗が劇場となる実験公演です。入場は無料。

- 日時 8月1日 13時〜18時頃まで その後ワークショップ
- 場所 むつショッピングセンター3階
- 出演 劇団未来半島(むつ)・ac-sep(青森)・teatre del viento(八戸) 野辺地高校演劇部・大湊高校演劇部

ICANOF事務局 090-299-8-0224 / メール mol@f667-dj.com (高沢) まい。